

『中学校・社会科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 第3学年1組教室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名)

使用教科書 社会科 中学生の公民(帝国書籍)

(4) 単 元 名 第4部 国際 第1章 国際社会 第1節 紛争のない世界へ

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

- ・地理的分野
- ・歴史的分野
- ・公民的分野[A 私たちと現代社会][B 私たちと経済][C 私たちと政治]

【単元のねらい】

国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにするとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明、論述できるようにすることを主なねらいとしている。

【児童(生徒)の状況】

- ・学習に対して落ち着いて取り組み、基礎的・基本的な内容がおおむね定着している。
- ・図やグラフなど資料の読み取りはほとんどの生徒ができるが、資料を活用し、根拠をもって答える生徒は少ない。
- ・ペア学習や班活動がやや苦手で、自分の考えを伝えたり話し合ったりすることは十分ではない生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

時数	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 本時	【国家と国際社会】 ・領土(領海、領空を含む。)、国家主権について理解する。 ・国家間の相互の主権の尊重と国際的な儀礼を理解する。(教科書 P.173・174)	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第二次	【領土をめぐる取組】 ・我が国にどのような領土問題や領有権の問題があるか理解する。 ・我が国の領土問題や領有権問題の解決に向けた課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第三次	【国際連合の働きとしくみ】 ・国際連合の創設やしきみについて理解する。 ・国際社会の諸課題解決のために国際連合などの国際機関の役割の重要性を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第四次	【現代における紛争】 ・世界にはどのような地域紛争があるか理解する。 ・地域紛争が社会にどのような影響を与えているか理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第五次	【兵器の脅威と軍縮への努力】 ・核兵器や軍縮の状況を理解する。 ・軍縮に向けて国際社会が抱える課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第六次	【グローバル化が進む国際社会】 ・現代の国際社会にどのような課題があるか理解する。 ・グローバル化や新しい社会の枠組みの影響や課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第七次	【国際社会における日本の役割】 ・国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の平和と人類の福祉の増大について、国際社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わるうとする。	一斉 個人思考 グループ共有	主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・社会科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 第3学年1組教室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名)

使用教科書 社会科 中学生の公民(帝国書籍)

(4) 単 元 名 第4部 国際 第1章 国際社会 第1節 紛争のない世界へ

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

- ・地理的分野
- ・歴史的分野
- ・公民的分野[A 私たちと現代社会][B 私たちと経済][C 私たちと政治]

【単元のねらい】

国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにするとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明、論述できるようにすることを主なねらいとしている。

【児童(生徒)の状況】

- ・学習に対して落ち着いて取り組み、基礎的・基本的な内容がおおむね定着している。
- ・図やグラフなど資料の読み取りはほとんどの生徒ができるが、資料を活用し、根拠をもって答える生徒は少ない。
- ・ペア学習や班活動がやや苦手で、自分の考えを伝えたり話し合ったりすることは十分ではない生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

時数	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	【国家と国際社会】 ・領土(領海、領空を含む。)、国家主権について理解する。 ・国家間の相互の主権の尊重と国際的な儀礼を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第二次 本時	【領土をめぐる取組】 ・我が国にどのような領土問題や領有権の問題があるか理解する。 ・我が国の領土問題や領有権問題の解決に向けた課題について考察し、表現する。 (教科書 P.175・176)	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第三次	【国際連合の働きとしくみ】 ・国際連合の創設やしきみについて理解する。 ・国際社会の諸課題解決のために国際連合などの国際機関の役割の重要性を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第四次	【現代における紛争】 ・世界にはどのような地域紛争があるか理解する。 ・地域紛争が社会にどのような影響を与えているか理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第五次	【兵器の脅威と軍縮への努力】 ・核兵器や軍縮の状況を理解する。 ・軍縮に向けて国際社会が抱える課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第六次	【グローバル化が進む国際社会】 ・現代の国際社会にどのような課題があるか理解する。 ・グローバル化や新しい社会の枠組みの影響や課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第七次	【国際社会における日本の役割】 ・国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の平和と人類の福祉の増大について、国際社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	一斉 個人思考 グループ共有	主体的に 学習に 取り組む 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・社会科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 第3学年1組教室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名)

使用教科書 社会科 中学生の公民(帝国書籍)

(4) 単 元 名 第4部 国際 第1章 国際社会 第1節 紛争のない世界へ

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

- ・地理的分野
- ・歴史的分野
- ・公民的分野[A 私たちと現代社会][B 私たちと経済][C 私たちと政治]

【単元のねらい】

国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにするとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明、論述できるようにすることを主なねらいとしている。

【児童(生徒)の状況】

- ・学習に対して落ち着いて取り組み、基礎的・基本的な内容がおおむね定着している。
- ・図やグラフなど資料の読み取りはほとんどの生徒ができるが、資料を活用し、根拠をもって答える生徒は少ない。
- ・ペア学習や班活動がやや苦手で、自分の考えを伝えたり話し合ったりすることは十分ではない生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

時数	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	【国家と国際社会】 ・領土(領海、領空を含む。)、国家主権について理解する。 ・国家間の相互の主権の尊重と国際的な儀礼を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第二次	【領土をめぐる取組】 ・我が国にどのような領土問題や領有権の問題があるか理解する。 ・我が国の領土問題や領有権問題の解決に向けた課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第三次	【国際連合の働きとしくみ】 ・国際連合の創設やしきみについて理解する。 ・国際社会の諸課題解決のために国際連合などの国際機関の役割の重要性を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第四次 本時	【現代における紛争】 ・世界にはどのような地域紛争があるか理解する。 ・地域紛争が社会にどのような影響を与えているか理解する。(教科書 P.179・180)	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第五次	【兵器の脅威と軍縮への努力】 ・核兵器や軍縮の状況を理解する。 ・軍縮に向けて国際社会が抱える課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第六次	【グローバル化が進む国際社会】 ・現代の国際社会にどのような課題があるか理解する。 ・グローバル化や新しい社会の枠組みの影響や課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第七次	【国際社会における日本の役割】 ・国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の平和と人類の福祉の増大について、国際社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	一斉 個人思考 グループ共有	主体的に 学習に 取り組む 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・社会科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 第3学年1組教室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名)

使用教科書 社会科 中学生の公民(帝国書籍)

(4) 単 元 名 第4部 国際 第1章 国際社会 第1節 紛争のない世界へ

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

- ・地理的分野
- ・歴史的分野
- ・公民的分野[A 私たちと現代社会][B 私たちと経済][C 私たちと政治]

【単元のねらい】

国際社会に対する理解を深めることができるようにし、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにするとともに、人類の一員としてよりよい社会を築いていくために解決しなければならない様々な課題について探究し、自分の考えを説明、論述できるようにすることを主なねらいとしている。

【児童(生徒)の状況】

- ・学習に対して落ち着いて取り組み、基礎的・基本的な内容がおおむね定着している。
- ・図やグラフなど資料の読み取りはほとんどの生徒ができるが、資料を活用し、根拠をもって答える生徒は少ない。
- ・ペア学習や班活動がやや苦手で、自分の考えを伝えたり話し合ったりすることは十分ではない生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

時数	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	【国家と国際社会】 ・領土(領海、領空を含む。)、国家主権について理解する。 ・国家間の相互の主権の尊重と国際的な儀礼を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第二次	【領土をめぐる取組】 ・我が国にどのような領土問題や領有権の問題があるか理解する。 ・我が国の領土問題や領有権問題の解決に向けた課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第三次	【国際連合の働きとしくみ】 ・国際連合の創設やしきみについて理解する。 ・国際社会の諸課題解決のために国際連合などの国際機関の役割の重要性を理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第四次	【現代における紛争】 ・世界にはどのような地域紛争があるか理解する。 ・地域紛争が社会にどのような影響を与えているか理解する。	一斉 個人思考 グループ共有	知識・技能
第五次	【兵器の脅威と軍縮への努力】 ・核兵器や軍縮の状況を理解する。 ・軍縮に向けて国際社会が抱える課題について考察し、表現する。	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第六次 本時	【グローバル化が進む国際社会】 ・現代の国際社会にどのような課題があるか理解する。 ・グローバル化や新しい社会の枠組みの影響や課題について考察し、表現する。 (教科書 P.183・184)	一斉 個人思考 グループ共有	思考・判断・表現
第七次	【国際社会における日本の役割】 ・国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の平和と人類の福祉の増大について、国際社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	一斉 個人思考 グループ共有	主体的に 学習に 取り組む 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。